



寒工高改築工事かわら版

第27号

工事についてお気づきの点がございましたら、右記にご連絡ください。

内部解体も順調に進み、躯体解体をはじめました。



今年の梅雨は、梅雨時期らしいジメジメとした蒸し暑い天気で、天気予報も雨と曇マークが続いており、そろそろ晴れ渡る夏空を見たい今日この頃です。ただし、全国的には大雨被害を受けた地域もあるので、もう少し雨への警戒は必要かなと思います。

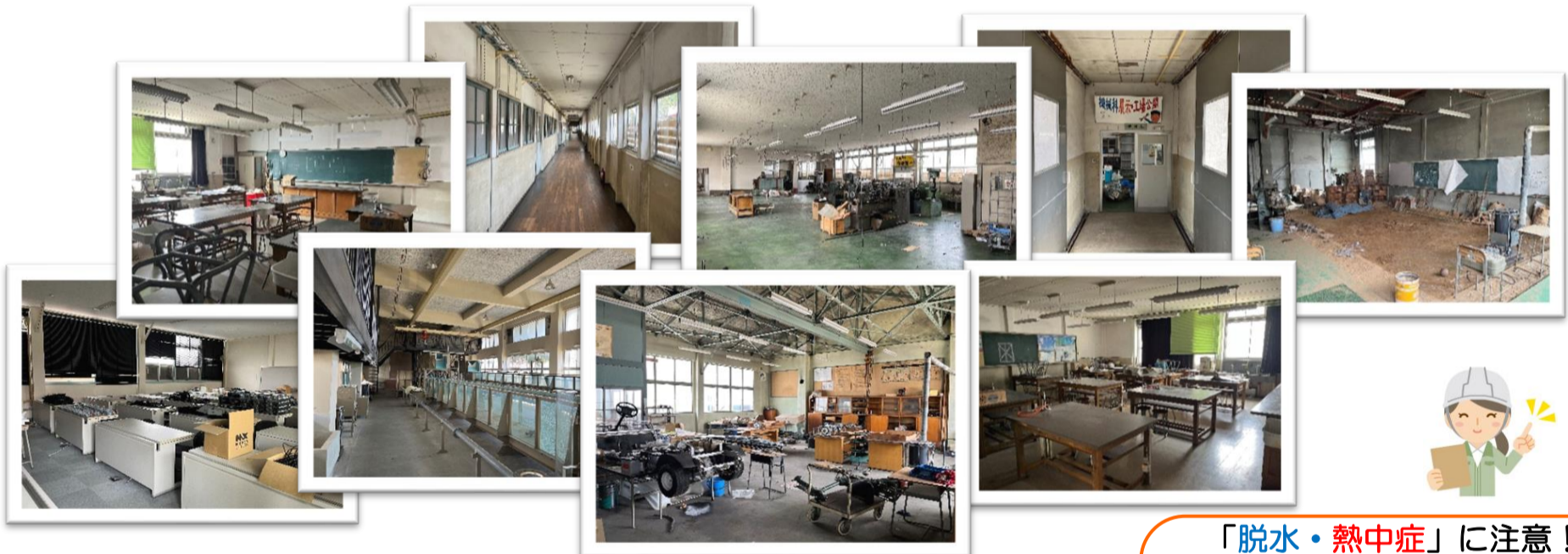
さて、現場の方は、内部解体も順調に進み、一部躯体解体も始まりました。分別しながらの解体作業は、とても大変ですが、廃棄物を出来るだけ減らし、リサイクルを促進することで、次世代へつなげるためにも必要な作業だと改めて感じています。

解体による騒音や振動、また、解体材搬出の大型車両の出入りが続きますが、安全に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(左写真) R6.6.27南側上空より

◆旧校舎の思い出グラフィティ

解体前に撮影した旧校舎の写真をお届けします。旧校舎では現在の学科の他に、以前は土木科があり、旧土木科棟という校舎もあります。中には昨年まで使用していた実習機器や、使われなくなった機器類も多数ありました。



◆解体工事で使う機材類

解体工事では、重機を使用しますが、使う場所や用途に合わせて大型のものから小型のものまで多数使い分けています。使用する重機は低騒音、低排出型です。

また、足場も解体工事には欠かせない資材です。高所での作業にも使いますが、防音シートを張って騒音対策や粉じん等の飛散防止にも役立ちます。



散水で粉じん防止



低騒音、低排出型重機



先行手摺足場



防音シート設置



工事期間中は、安全を最優先に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



「脱水・熱中症」に注意！

暑い日が多くなりました。体が暑さに慣れておらず、順応できなくなり、屋外、屋内を問わず、温度や湿度が高い環境下にいると、体内の水分塩分バランスが崩れて、体温調節機能が働かなくなって現れる症状を熱中症と言います。

熱中症かも…と思ったら早めの対応をすることで重症化を防ぐことができます。

◇熱中症が疑わしい人がいたら

- 涼しい場所へ
- からだを冷やす
- 水分補給



水分はとれるか

意識があるか？

自分で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

7~8月の工事予定

- 7/継続
- 7/継続~
- 7/継続~

旧校舎内部解体工事
外部足場組立、環境配慮工事
上部躯体、基礎解体工事

※上記予定は、天候等によりズレが生じる場合があります。